

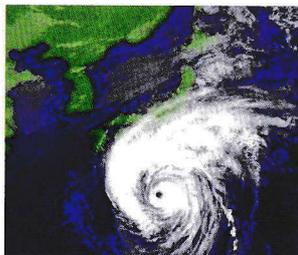
～防災知っ手帖～

発行：郷地・東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平、上田憲浩

台風19号の被害は甚大でした

2019年10月の台風19号、及びその1週間後の大雨によりこれまでにない広範囲の被害が発生しました。台風19号では、当連合自治会でも多摩川浸水想定区域（郷地町2丁目と3丁目の全域）に避難勧告（警戒レベル4＝全員避難）が出されましたが、避難した方は残念ながらごく少数でした。

災害を想定した事前の準備や災害に直面した時の的確な行動の必要性を実感したことと思います。日頃から「防災に関する知識を身に着ける」こと、「頭の中で災害時の動きを考えてみる」ことが大切です。



ハザードマップと警告レベル

昭島市では、2017年（平成29年）3月に「ハザードマップ」を更新しています。また内閣府（防災担当）は避難勧告等のガイドラインを2019年（平成31年）3月に改訂しました。ぜひ有効活用して下さい。

「ハザードマップ」には大雨が降った場合に予想される危険区域を**多摩川浸水想定区域**と**残堀川浸水予想区域**のそれぞれについて表示しています。「避難勧告等のガイドライン」では**警戒レベル3で避難準備・高齢者等避難開始、警戒レベル4で避難勧告や避難指示（緊急）としており全員避難すべき**としています。

「ハザードマップ」は2017年に全戸配布されていますが、家に見当たらないときは、昭島市の公式ホームページで確認して下さい。

大雨時等の避難情報等の情報入手方法

避難に関する情報は防災無線で放送されますが、聞こえにくい地域があったり、聞き漏らしたりすると再確認できないので、昭島市による「情報メール」を受信する様にして下さい。「いつかやっておこう」では忘れてしまいます。ではいつやるか？**今でしょ！**

【メール受信設定】

「昭島市公式ホームページ」より「携帯メール情報サービス」をクリックして登録。携帯だけでなくPCからもPCのアドレスを登録できます。

設定しておくとなら以下のようなメールが届きます。

台風第19号の接近に伴い、10月12日（土曜日）午前9時より、以下の施設を自主的に**避難できる施設として開放**します。大神会館、昭和会館、やまのかみ会館・・・（以下省略）

【警戒レベル4】全員避難

多摩川の水位が避難判断水位に到達し、更に水位上昇が見込まれるため、市内の**多摩川浸水想定区域**に対し、**警戒レベル4に該当する「避難勧告」**を発令しました。

昭島市の公式ページなど

昭島市公式ホームページ

<https://www.city.akishima.lg.jp/index.html>

スマホからなら右のQRコードで
携帯サイトにアクセス



昭島市公式Twitter（ツイッター）

Twitterでも下記のような緊急時の災害情報などを入手できます。
アカウント名 「@akishima_196」

【台風19号の接近に伴う避難所】避難所として開放している玉川小体育館、拝島会館は、満員のため受け入れができません。避難をする方は、他の避難所へお越しください。

震度6強の地震発生！ その時あなたはどうか動く？

さて地震対策に話を戻します。これまで**防災知っ手帖**を読んでこれ、各ご家庭で大地震に備えた対策をしていただいていることと思います。いざ地震が起こったとき、あなたはどのように行動できるのでしょうか。

【自宅にいるとき】

- 1) 自分と家族の安全確保
地震発生時はまず、**自分と家族の安全確保**です。
丈夫なテーブルの下など逃げ場所は決まっていますか。
- 2) 火事を出さない
火を使っているときは、揺れが収まってから火の始末をしましょう。万一出火したときは消火器で消火！
- 3) 避難するときの注意
TVやラジオで**正確な情報を得て行動を決める**。
昭島市の情報メールやTwitterも活用する。
家で危険が無ければ在宅避難。危険であれば一時集合場所へ避難。避難所が開設されていれば避難所へ。
電気のブレーカはオフ、水道・ガスの元栓は締める。
- 4) 安否確認
家族の安否連絡手段を活用しよう。
家族が無事なら安否確認プレートを自宅ドアに掲示。
余裕があればご近所の安否確認プレートを確認。

【外出先で発生したとき】

- 1) 交通がストップしている場合は**一時滞在施設**を利用
- 2) 徒歩帰宅が可能な範囲・状況であればそれも選択肢の一つです。その際は**災害時帰宅支援ステーション**を活用しよう（徒歩でのルート・マップをいつも携行）。
- 3) いずれの場合も安否連絡をする

【自動車運転中に発生したとき】

急停止すると追突されて危険。徐々に速度を落として道路左端に停車し、揺れの収まるまで待機。ただし、自車の前を走る車が急停止することも想定しておく。その後、可能であれば駐車場や広場へ移動。

安否情報の発信&確認の方法

大地震が発生すると通話が集中して、電話がかかりにくくなるのが予想されます。安否確認の為に普段から複数の手段が使えるようにしておきましょう。

- ・ SNSやショートメッセージを使う
- ・ 災害用伝言ダイヤル(局番なしの171番)
電話がつながりにくい時に提供され、事前の練習用に毎月1日、15日と防災週間等に体験できます。
- ・ 災害用伝言板(web171で検索)
携帯やPCから簡単なメッセージを、予め登録しておいた通知先にメールや音声で通知します。電話の171と同じく(同じ日)事前体験ができます。

火事を出さない

- ・ 家にも消火器を用意しよう。
- ・ 近所の街頭消火器の場所を覚えよう。
- ・ 時々訓練を受けて消火器の使い方を覚えておこう。
- ・ 倒れたとき自動消火できるストーブに買い替えておこう。

助け合う(共助)

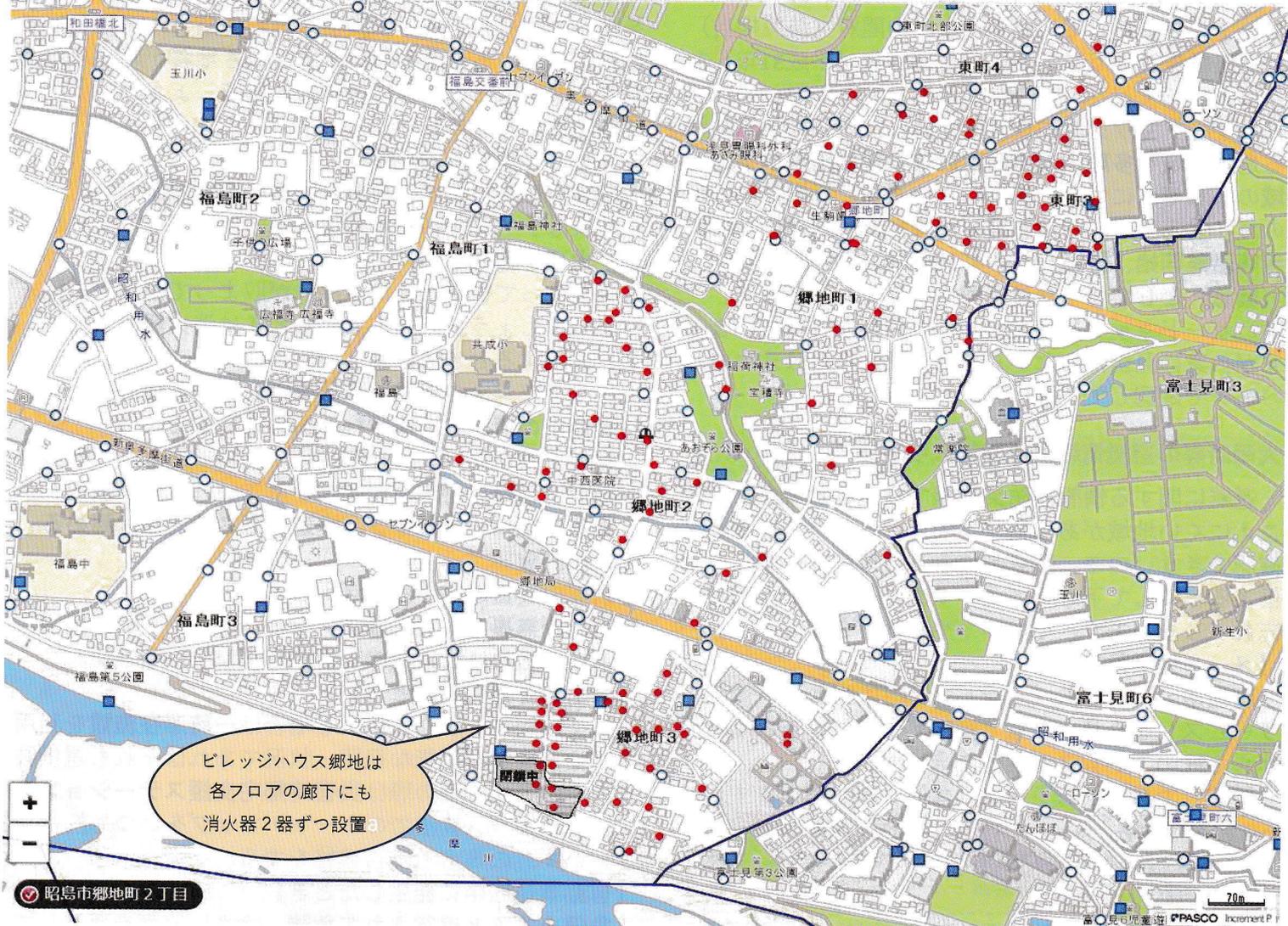
自分や家族の安全が確認出来たらご近所の安否も確認しましょう。**安否確認プレート**を活用できるとより迅速に行動できます。倒れた家屋に挟まれている人がいたら周囲の人に声をかけて助け出そう。

火災が発生していたらご近所同士が協力して初期消火をしましょう。**スタンドパイプ**が使えるとより消火できる可能性が高まります。ただし、身の危険を感じたら消火活動は止めて避難して下さい。

防災セミナーのお知らせ(気軽に参加して下さい)

郷地・東町連合自治会では毎年、防災に関するセミナーを開催しています。まだ1回も出席したことが無いあなた! 今回はそんな人向けの内容を用意しましたので、難しく考えずぜひご家族でご参加ください。
テーマ: 首都直下型地震への一人ひとりの備え
開催日時: **2020年2月1日(土) 14:00~15:30**
開催場所: 郷地倶楽部2階

近所の街頭消火器、消火栓の場所を覚えましょう(郷地町地区編) (東町地区編は第1号で紹介しています)



凡例 ● 街頭消火器 ○ 消火栓 ■ 防火水槽
◇ 街頭消火器は昭島市防災課の設置したもの等の戸外にあるもので、当連合自治会エリアのものを表示(マンションやアパート等では建屋内にも設置されていることが多いので確認しておきましょう)